

2025年度 学修に関する アンケート調査結果報告

2026.7.1 IR室

2025年度学修に関するアンケート

■調査対象

- ・ 2025年度在学生全員(600名、3月末時点、休学者除く)

■調査方法

- ・ 湘北ポータルでURLを送付し、パソコン・スマホを利用してGoogle Formで回答を受け付ける

■調査時期

- ・ 2026年2月27日～同3月13日

■回答数

- ・ 回答数155 回答率 25.8%

2025年度学修に関するアンケート

■2年生回答数

学科	回答数	対象人数	回答率
総合ビジネス・情報学科	25	140	17.9%
生活プロデュース学科	18	73	24.7%
保育学科	11	85	15.1%
計	54	298	18.1%

■1年生回答数

学科	回答数	対象人数	回答率
総合ビジネス・情報学科	44	145	30.3%
生活プロデュース学科	45	86	52.3%
保育学科	12	71	16.9%
計	101	302	33.4%

回答数内訳(2年生)

学科	コース・フィールド	回答数
総合ビジネス・情報	ビジネス情報	7
	経理・金融	5
	ショップマネジメント	3
	オフィスワーク	2
	観光ビジネス・観光	1
	観光ビジネス・留学	0
	プログラミング	5
	メディアデザイン	2
総合ビジネス・情報 集計		25
生活プロデュース	ファッション	5
	フード	3
	インテリアデザイン	1
	子どもサービス	4
	医療事務・情報	5
生活プロデュース 集計		18
保育	保育	11
総計		54

回答数内訳(1年生)

学科	コース・フィールド	回答数
総合ビジネス・情報	ビジネス情報	20
	経理・金融	6
	ショップマネジメント	3
	オフィスワーク	3
	観光ビジネス・観光	4
	観光ビジネス・留学	4
	プログラミング	2
	メディアデザイン	2
総合ビジネス・情報 集計		44
生活プロデュース	ファッション	9
	フード	6
	インテリアデザイン	10
	子どもサービス	8
	医療事務・情報	12
生活プロデュース 集計		45
保育	保育	12
総計		101

調査結果の活用・公表について

- 集計結果を教務委員会、教育課程審議会、教授会等で報告し、教育活動の改善に反映させる。
- 本学WEBサイトで公表する。

学科別「学修成果」 の成長実感

設問について

■学修に関するアンケート調査

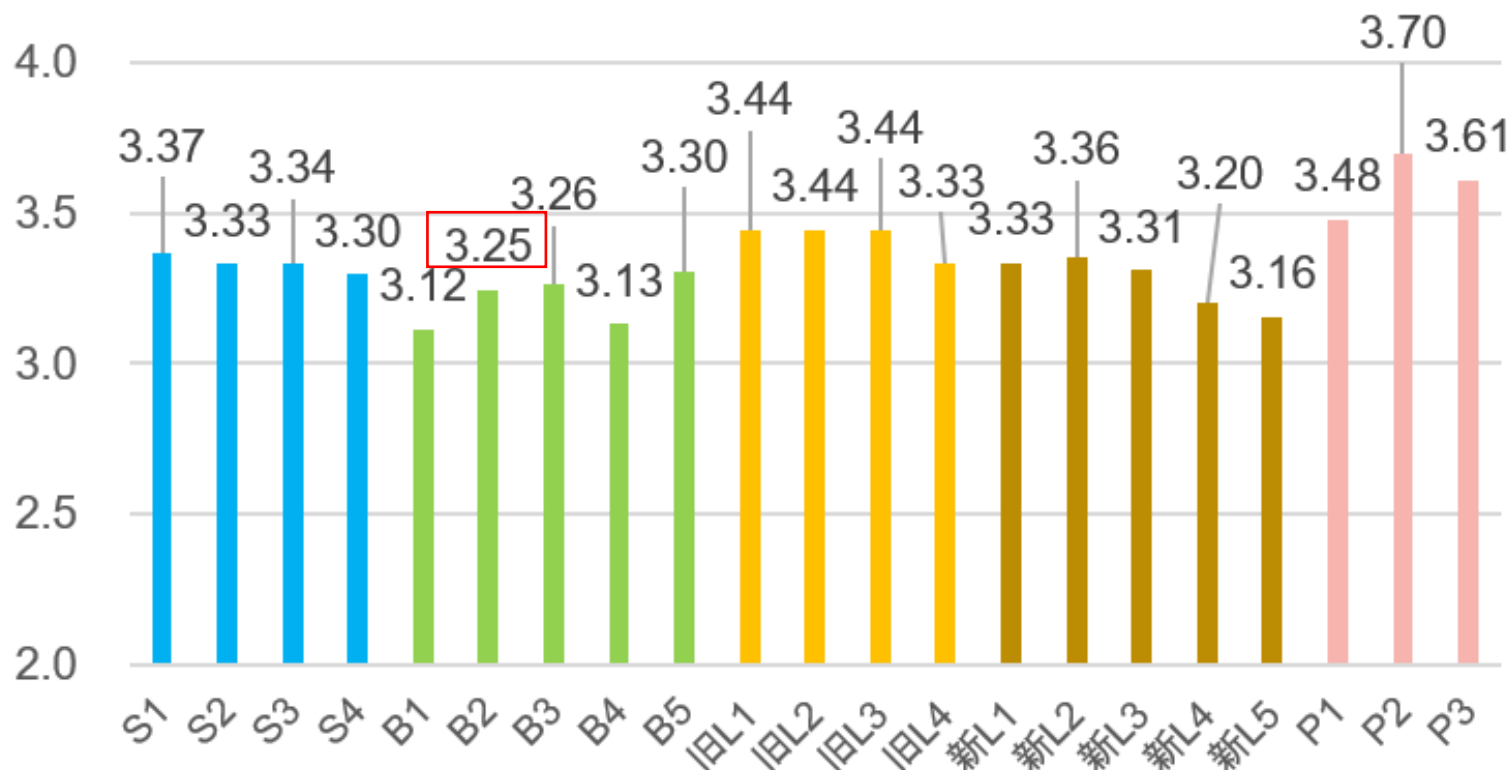
学科及びコース・フィールドの「学修成果」について、どの程度身に付いた実感があるか

選択肢	点数
身に付いた	4点
どちらかというと身に付いた	3点
どちらかというと身に付かなかった	2点
身に付かなかった	1点

「学修成果別成長実感」の平均値(大学全体・学科)

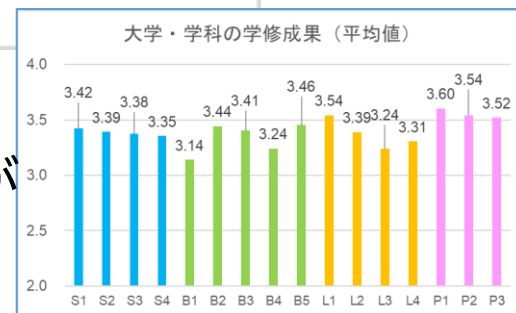
身についたかどうかの自己評価(4段階)

大学・学科の学修成果（平均値）



前年

- L学科は学修成果の変更あり
- 昨年度の調査から有意な変化(t検定でp値<0.05)があった項目 : B2(▲0.20)



「学修成果別成長実感」の平均値(大学全体・学科)

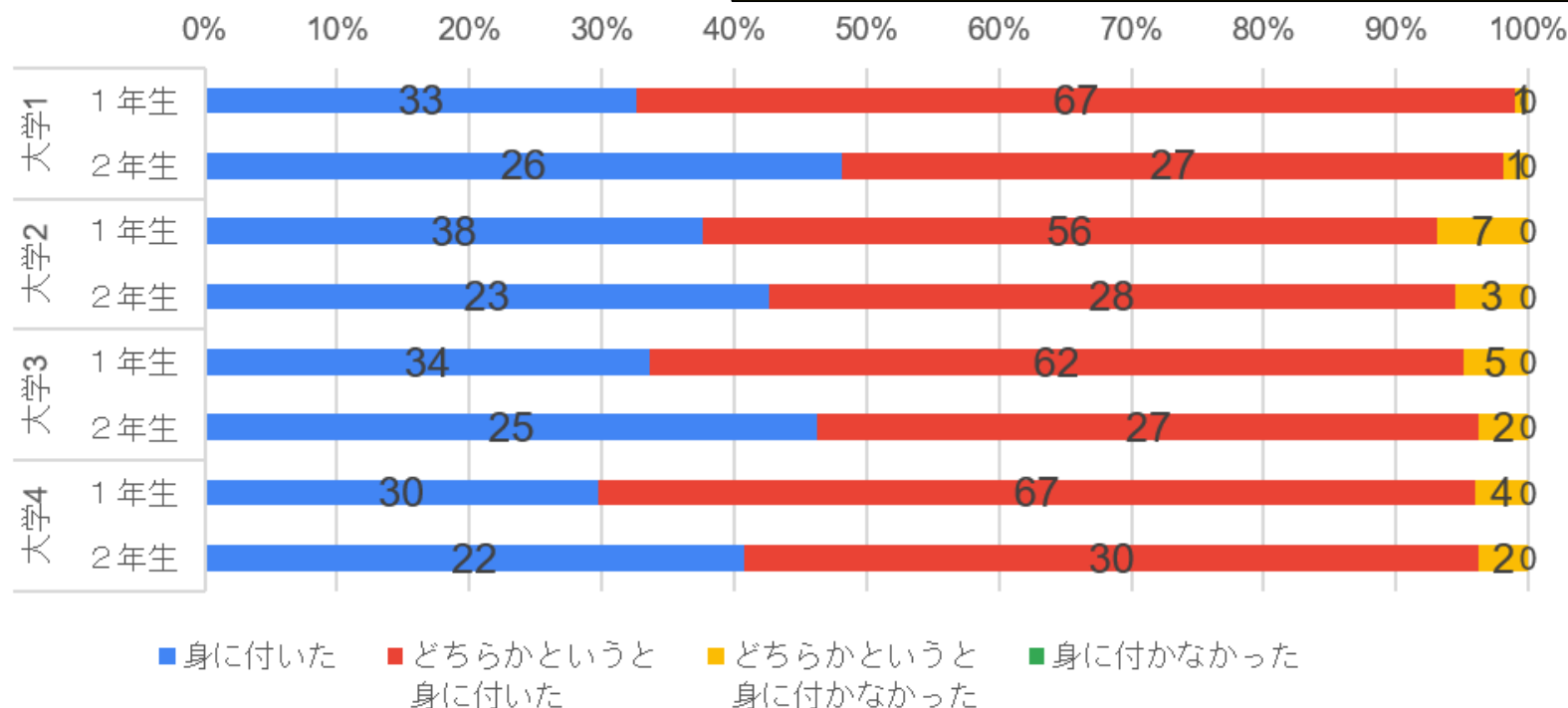
身についたかどうかの自己評価(4段階)

学修成果	平均値	前年	差数	TTEST	2025n	2024n
S1	3.37	3.42	-0.06	0.31	155	186
S2	3.33	3.39	-0.06	0.33	155	186
S3	3.34	3.38	-0.04	0.50	155	186
S4	3.30	3.35	-0.06	0.33	155	186
B1	3.12	3.14	-0.02	0.85	69	79
B2	3.25	3.44	-0.20	0.03	69	79
B3	3.26	3.41	-0.14	0.15	69	79
B4	3.13	3.24	-0.11	0.30	69	79
B5	3.30	3.46	-0.15	0.11	69	79
旧L1	3.44	3.54	-0.10	0.48	18	59
旧L2	3.44	3.39	0.05	0.70	18	59
旧L3	3.44	3.24	0.21	0.16	18	59
旧L4	3.33	3.31	0.03	0.86	18	59
新L1	3.33	—	—	—	45	—
新L2	3.36	—	—	—	45	—
新L3	3.31	—	—	—	45	—
新L4	3.20	—	—	—	45	—
新L5	3.16	—	—	—	45	—
P1	3.48	3.60	-0.13	0.38	23	48
P2	3.70	3.54	0.15	0.21	23	48
P3	3.61	3.52	0.09	0.54	23	48

- 昨年度の調査から有意な変化があった項目:B2(▲0.20)、
B学科では全項目でやや低下

「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



S1

各分野の専門的な知識・技能を身につけており、論理的に思考し、問題解決方法を導くことができる。

S2

コミュニケーション能力や数量的能力、情報リテラシー等を適切に用いて自分の言葉で表現することができる。

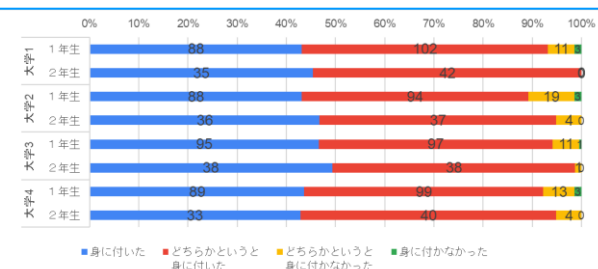
S3

社会で求められる態度や志向性を身につけ、多様な人々と協働しつつ主体的に決断し実行することができる。

S4

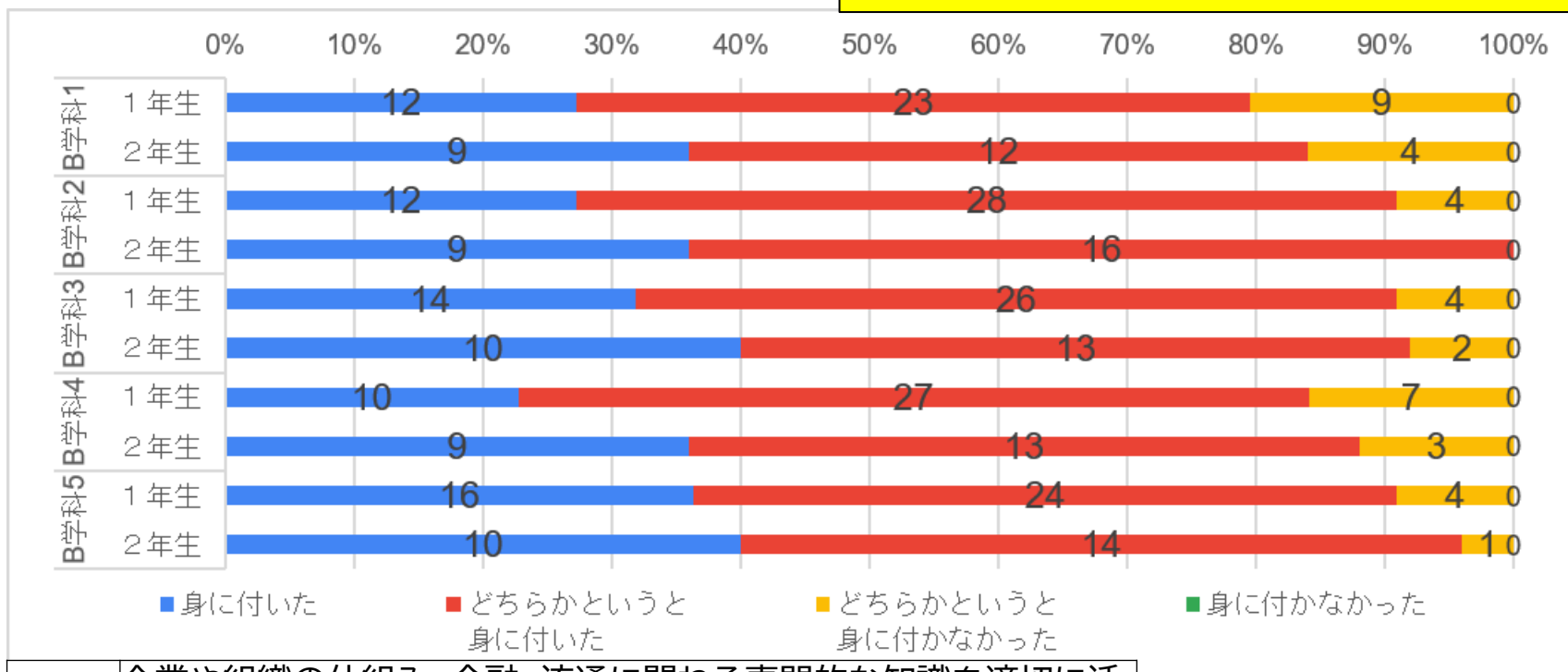
身につけた知識・技能・態度等を総合的に活用し、新たな課題解決に取り組むことができる。

前年



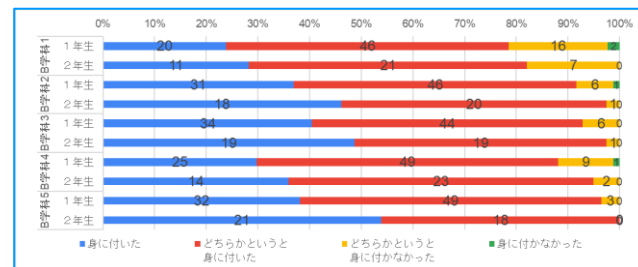
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



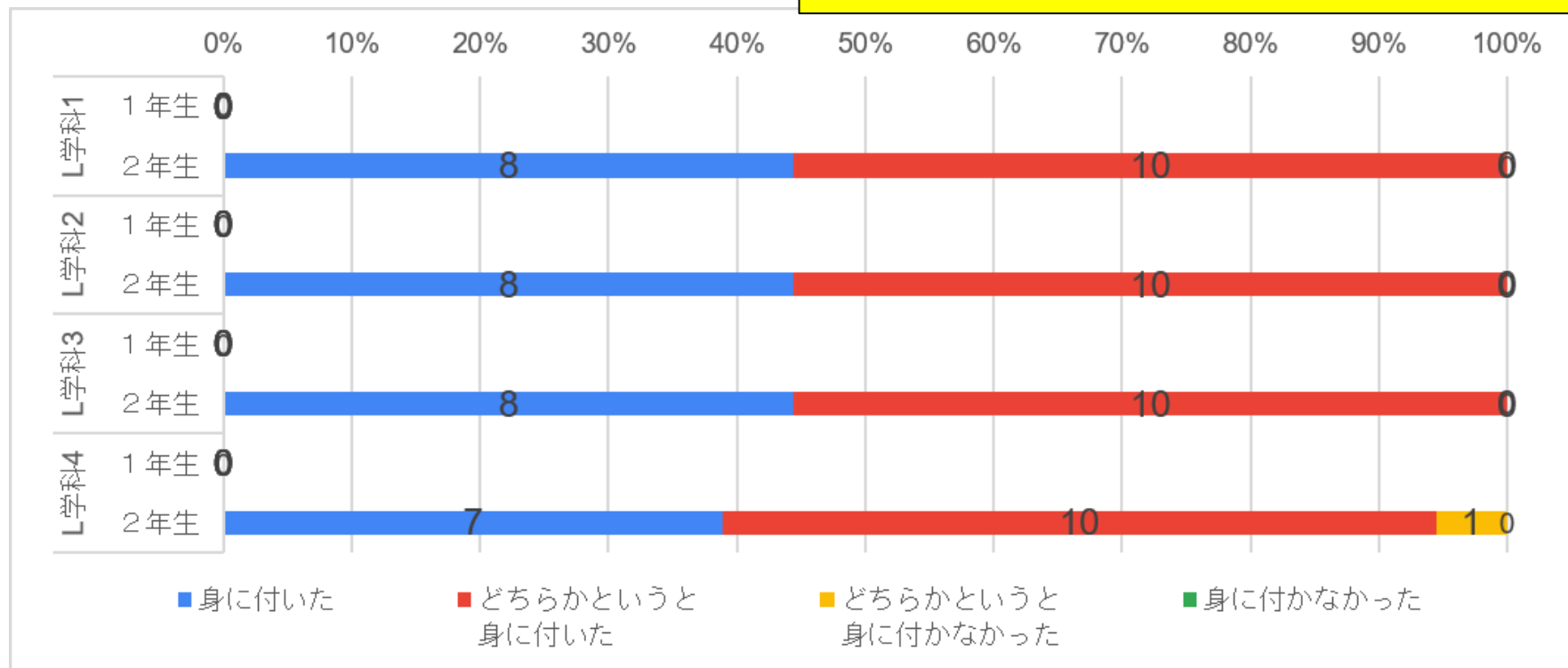
B1	企業や組織の仕組み、金融、流通に関わる専門的な知識を適切に活用することができる。
B2	各コースが目指す業種・職種に関わる専門的な知識・技能を適切に活用することができる。
B3	ビジネスに必要なコミュニケーション能力を適切に活用することができる。
B4	情報化されたビジネス社会に必要なITスキルを適切に活用することができる。
B5	ビジネスに必要な主体性、柔軟性、規律性、社会マナーをもって行動することができる。

前年



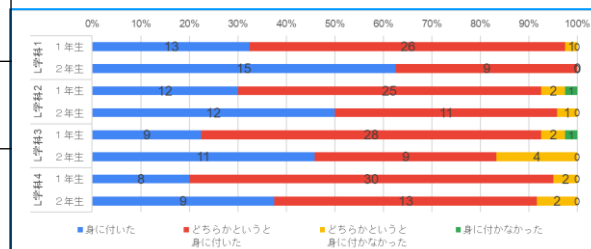
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



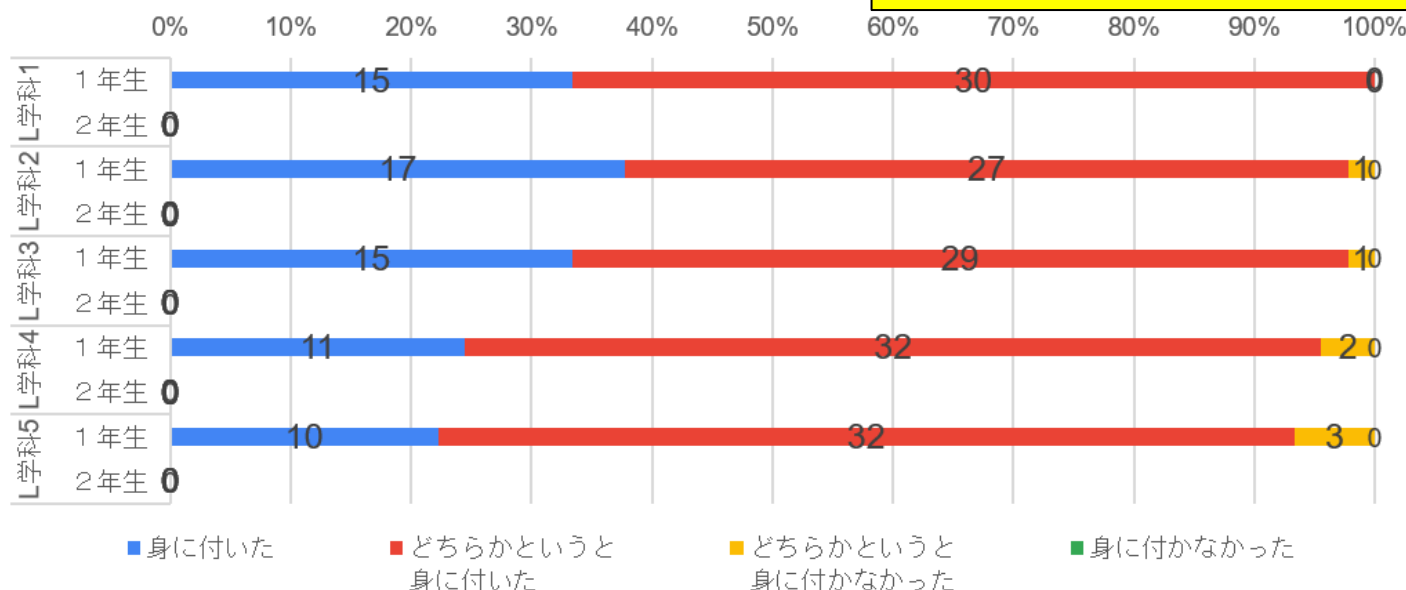
旧L1	生活に関連する分野の専門知識と基礎技能を習得している。
旧L2	社会人として必要なコミュニケーションを円滑に行うことができる。
旧L3	自立した女性として多様な社会で活躍できる。
旧L4	身につけた知識・技能・態度等を総合的に活用し、生活やビジネスに関わる課題解決に取り組むことができる。

前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

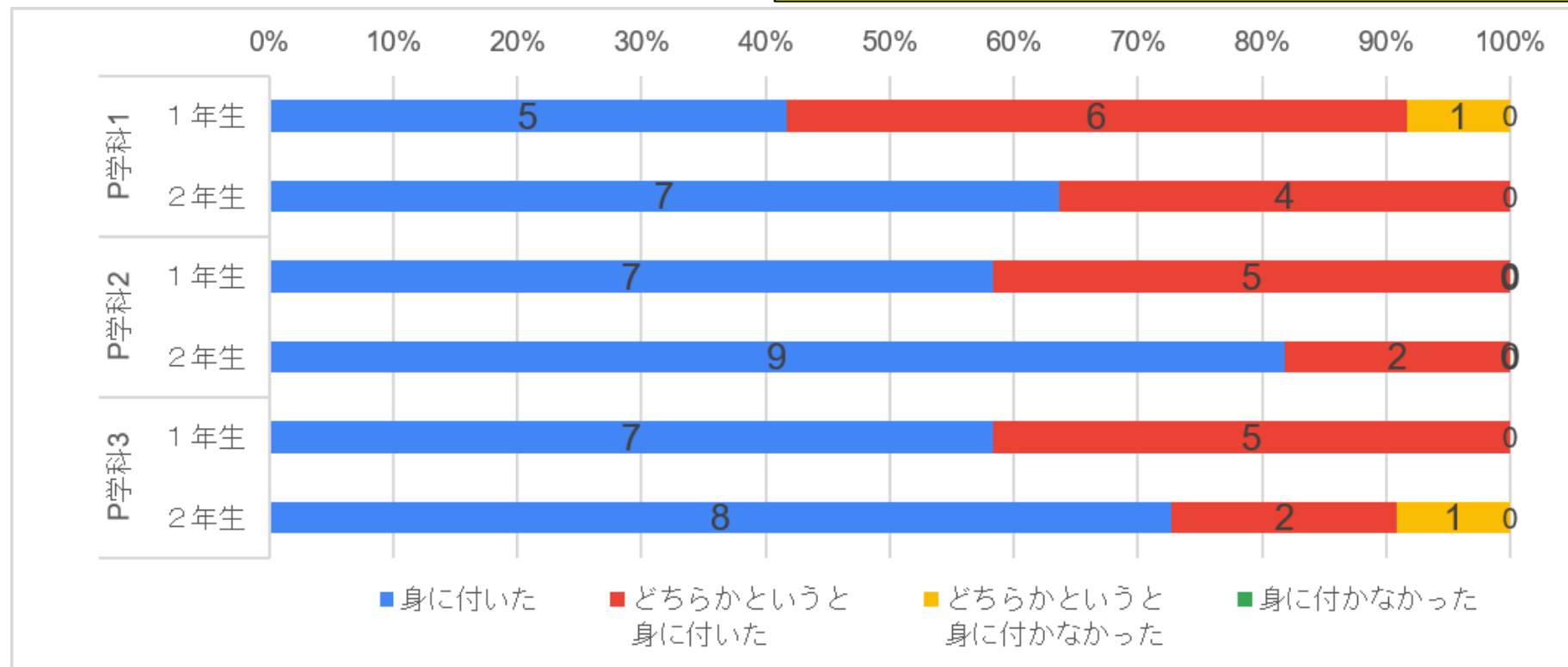
身についたかどうかの自己評価(4段階)



L1	幅広い知識：社会と生活についての知識と自ら情報を得る力を身につけ、自立した市民として社会生活に活かすことができる。
L2	専門分野の知識と技能：生活にかかわる各分野（被服、食物、住環境、子どもと家族、医療・福祉・健康）の専門性に応じた知識と基礎技能を修得している。
L3	コミュニケーション力と共生力：多様性を尊重し、他者とのコミュニケーションを図る能力と、共生や協働を実現する素養を身につけている。
L4	社会貢献力：「持続可能な社会の創り手」としての責任感と倫理観をもち、自らの役割を認識して社会で活躍できる。
L5	課題解決力とプロデュース力：身につけた知識・技能等を総合的に活用し、人々の生活に関わる課題の解決を図るとともに、新たな“もの”や“こと”を創り出し、豊かな生活をプロデュースすることができる。

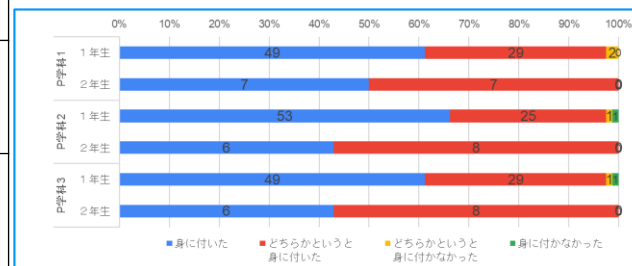
「学修成果別成長実感」の回答構成比

身についたかどうかの自己評価(4段階)



P1	社会人として必要とされる知識・能力・態度等を習得している。
P2	保育の内容・方法に関する知識や技能を習得し、さらに実践的に活用することができる。
P3	保育に関する学びを発展的に深めながら、将来に向けて自ら設定した課題へ主体的・実践的に取り組むことができる。

前年

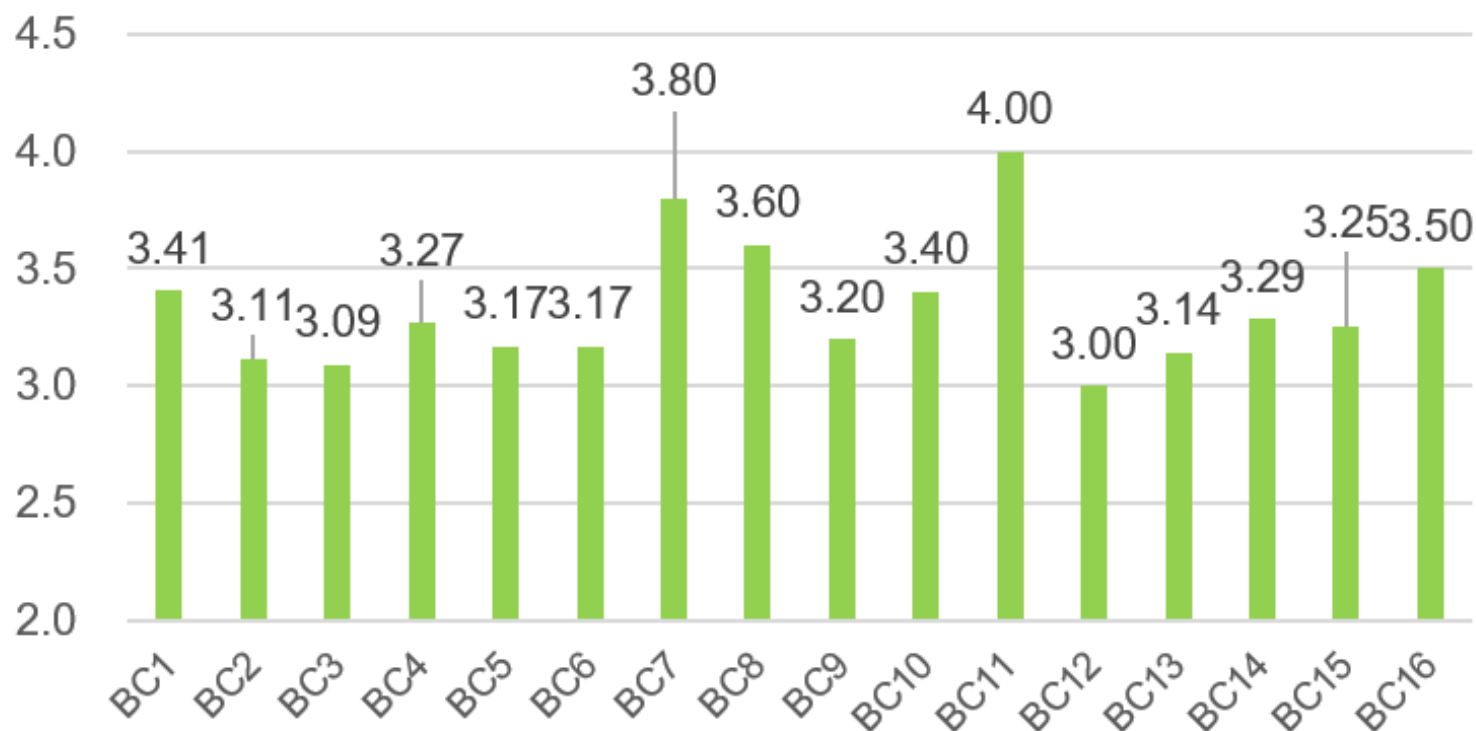


コース・フィールド別 「学修成果」の成長実感

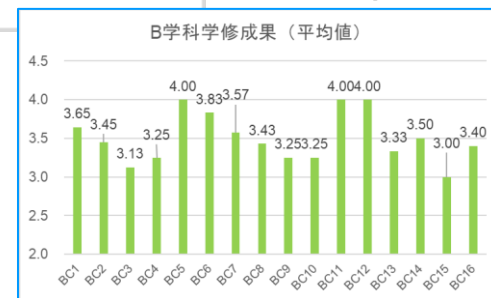
「学修成果別成長実感」の平均値(B学科)

身についたかどうかの自己評価(4段階)

B学科学修成果 (平均値)



前年



「学修成果別成長実感」の平均値(B学科)

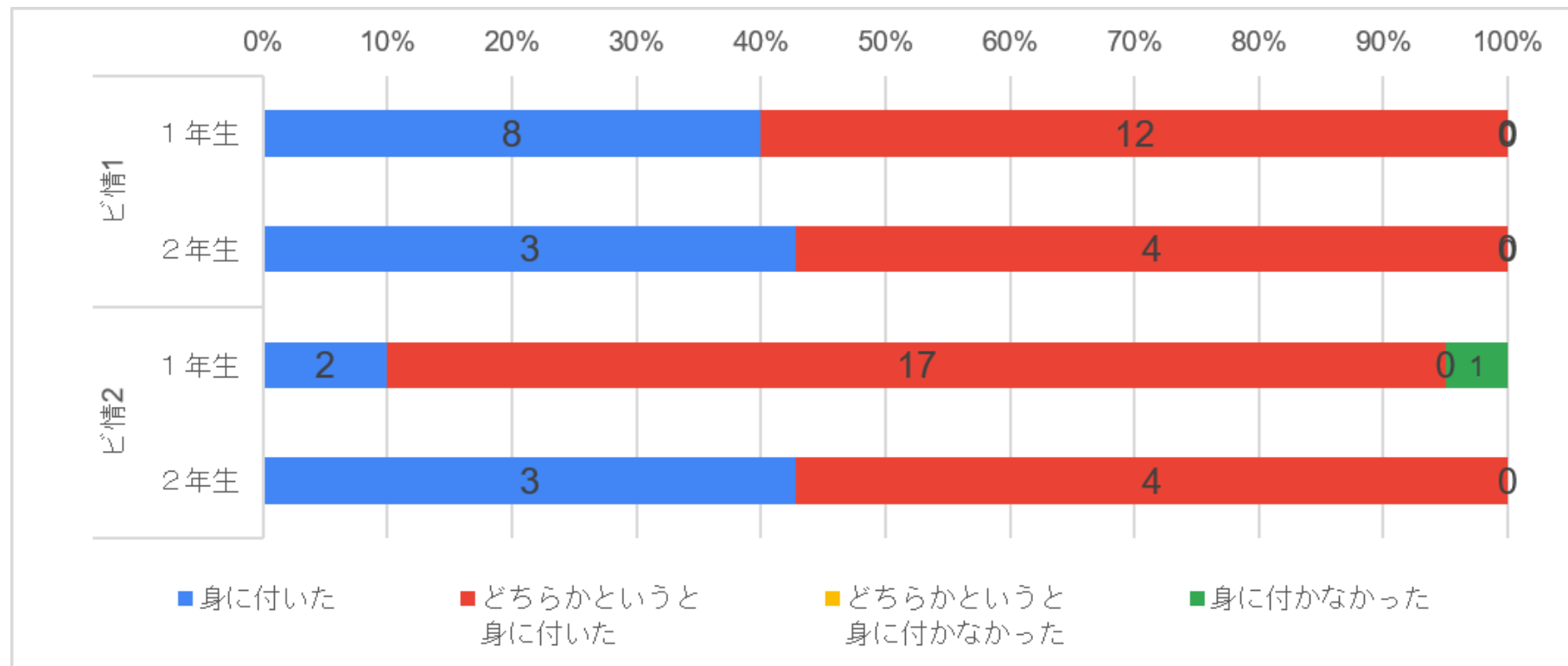
身についたかどうかの自己評価(4段階)

学修成果	平均値	前年	差数	2025n	2024n
BC1	3.41	3.65	-0.24	27	31
BC2	3.11	3.45	-0.34	27	31
BC3	3.09	3.13	-0.03	11	8
BC4	3.27	3.25	0.02	11	8
BC5	3.17	4.00	-0.83	6	6
BC6	3.17	3.83	-0.67	6	6
BC7	3.80	3.57	0.23	5	7
BC8	3.60	3.43	0.17	5	7
BC9	3.20	3.25	-0.05	5	4
BC10	3.40	3.25	0.15	5	4
BC11	4.00	4.00	0.00	4	1
BC12	3.00	4.00	-1.00	4	1
BC13	3.14	3.33	-0.19	7	12
BC14	3.29	3.50	-0.21	7	12
BC15	3.25	3.00	0.25	4	10
BC16	3.50	3.40	0.10	4	10

「学修成果別成長実感」の回答構成比

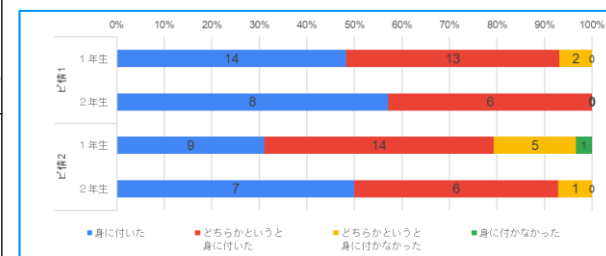
ビジネス情報

身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC 1	データ入力、資料作成など事務職に求められる技能と各種データを分析し発信する能力を適切に活用することができる。
BC 2	「ビジネス能力検定」や「MOS」の取得に向けた学習を通して身につけたマネジメントに関する知識と高度なパソコンスキルを適切に活用することができる。

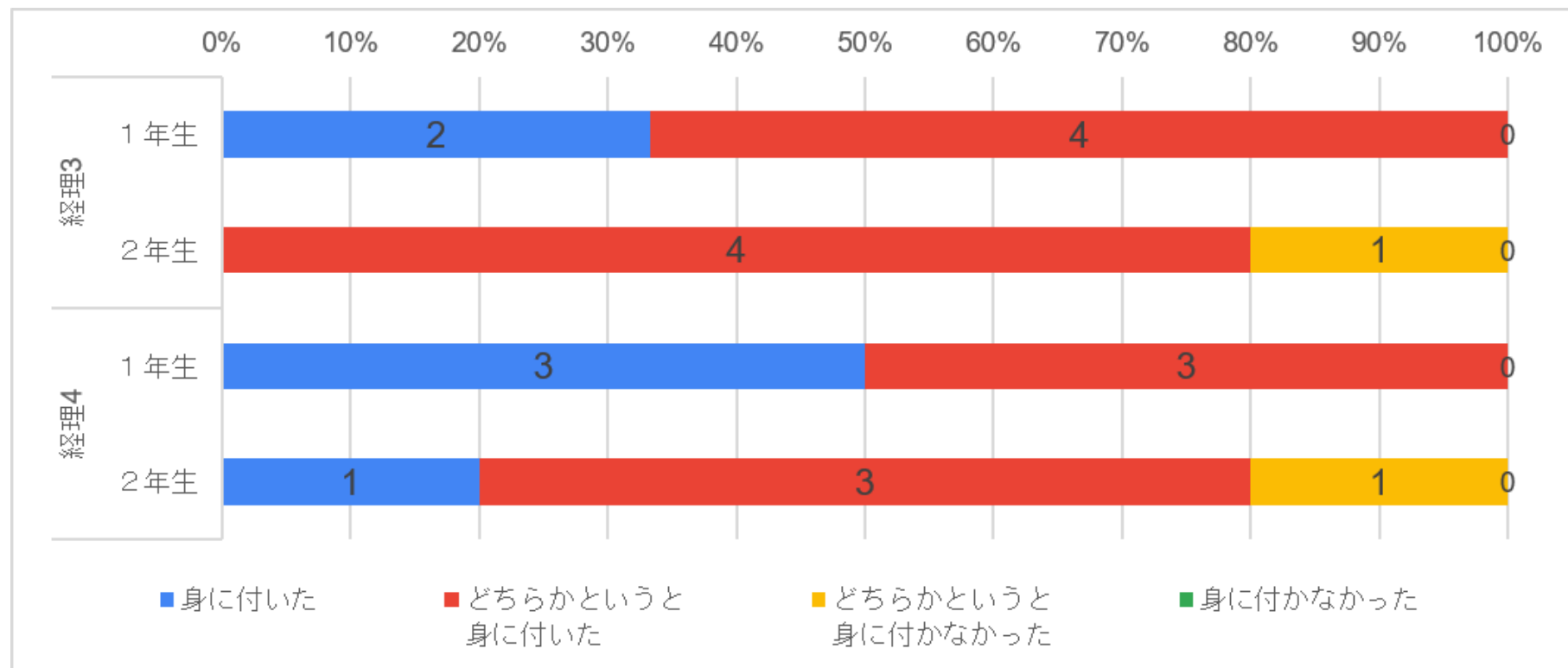
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

経理・金融

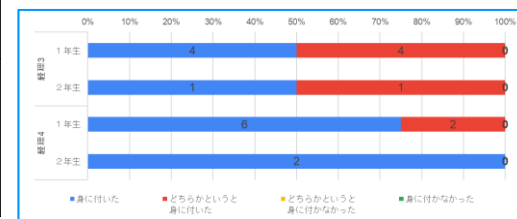
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC3 資金運用・計画に関する専門的な知識と技能を適切に活用することができる。

BC4 「簿記検定」や「ファイナンシャル・プランニング技能検定」の取得に向けた学習を通して身につけた経済に関する知識と高度な計算能力を適切に活用することができる。

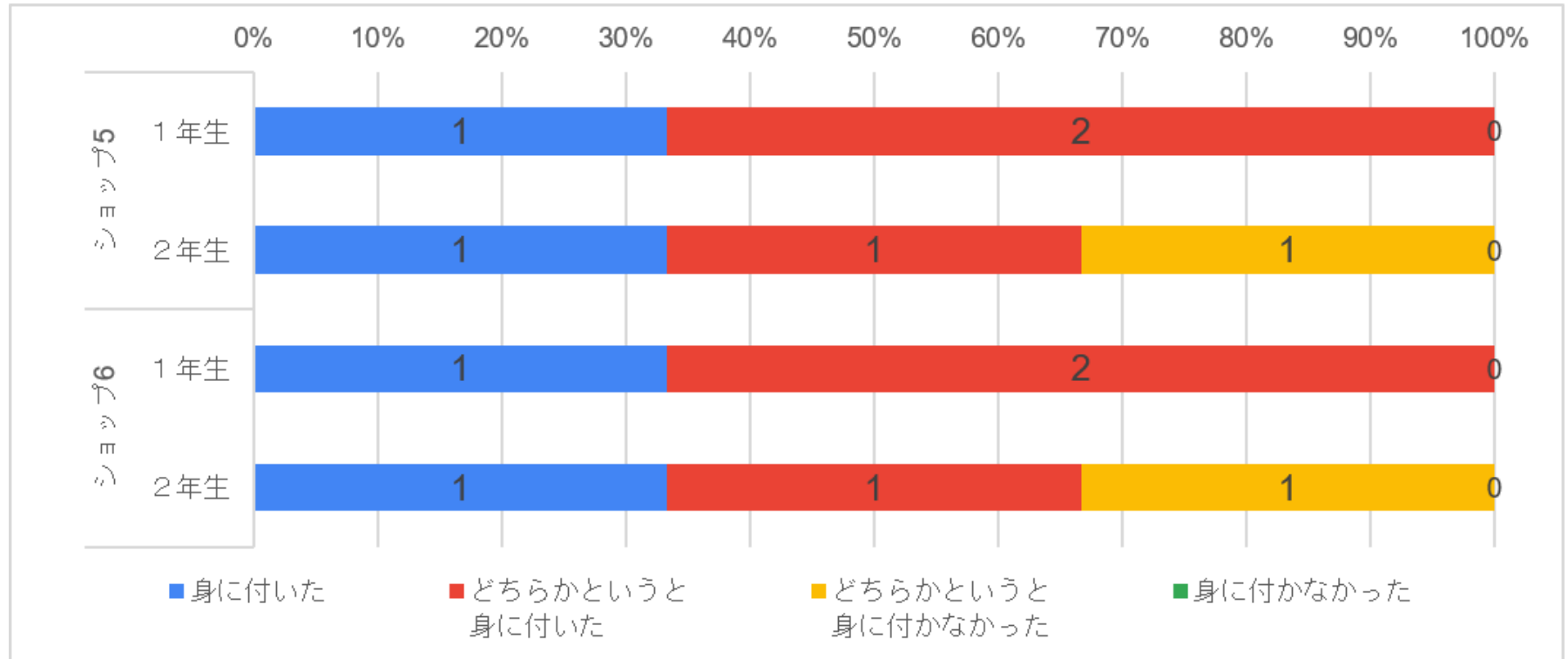
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

ショップマネジメント

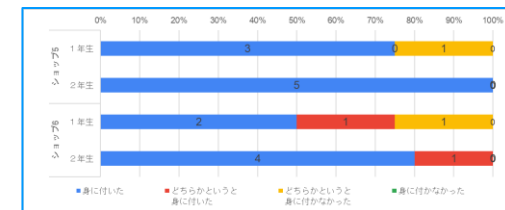
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC5 流通・販売業、各種サービス業、カウンター営業、ショップ経営などに求められる専門的な知識と技能を適切に活用することができる。

BC6 「リテールマーケティング(販売士)検定」や「サービス接客検定」の取得に向けた学習を通して身につけたマーケティングに関する知識と高度な販売能力を適切に活用することができる。

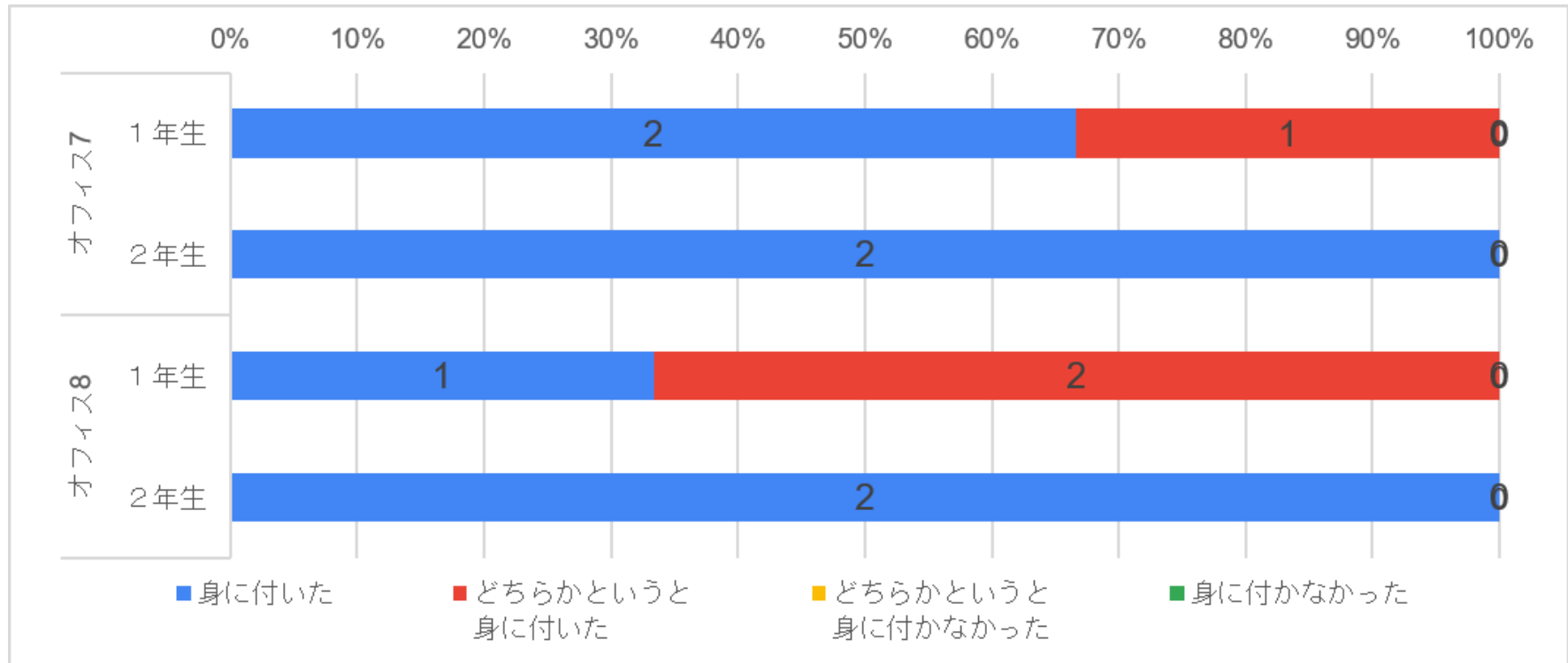
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

オフィスワーク

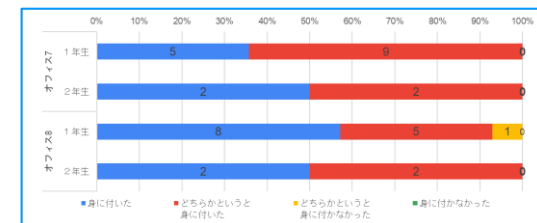
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC7 一般事務、受付・窓口業務、秘書などに求められる幅広い知識と多様な実践的能力を適切に活用することができる。

BC8 「秘書技能検定」や「コミュニケーション検定」の取得に向けた学習を通して身につけたビジネスに関する知識と高度なコミュニケーション能力を適切に活用することができる。

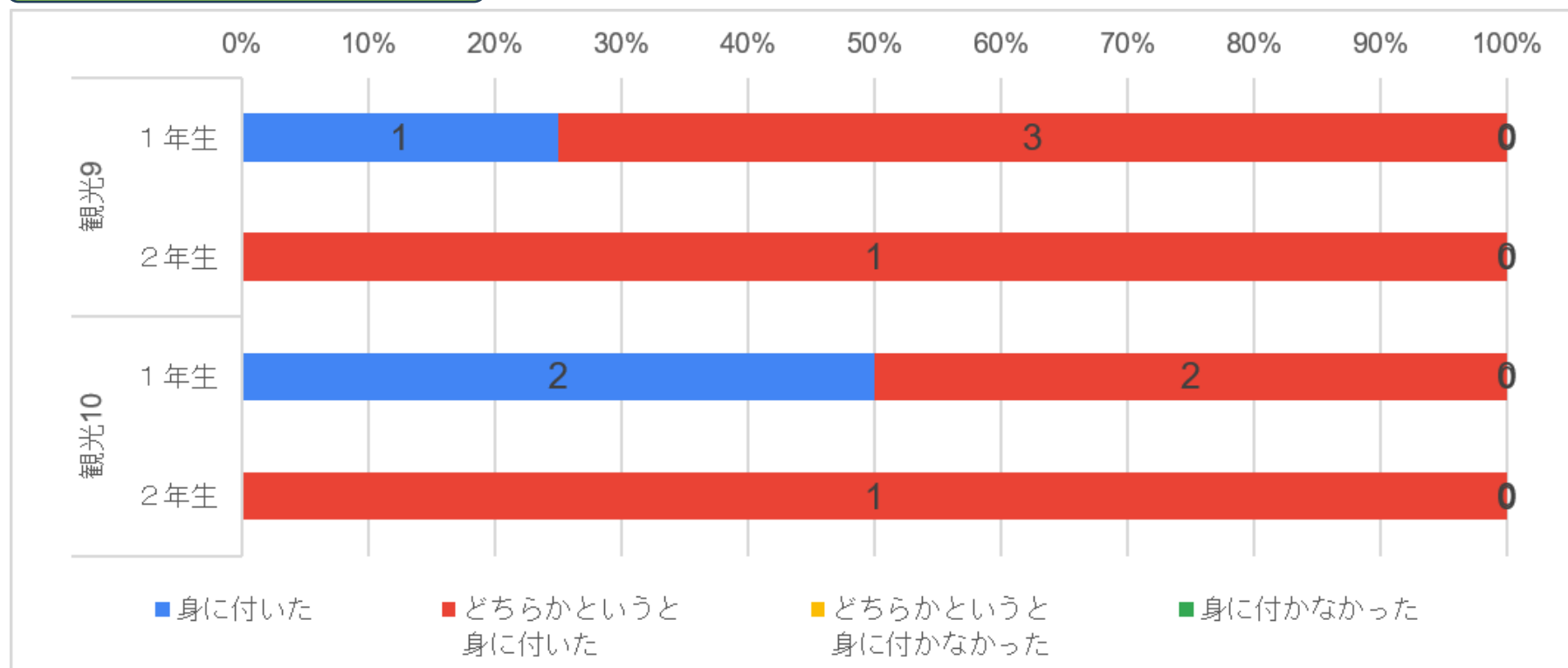
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

観光ビジネス・観光

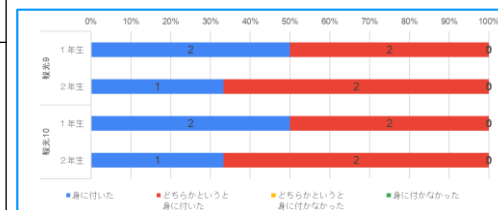
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC9 旅行代理店、ホテル、テーマパークなど、観光関連業界で求められる専門的な知識と語学力を適切に活用することができる。

BC10 「国内旅程管理主任者」や「国内旅行業務取扱管理者」の取得に向けた学習を通して身につけた観光ビジネスに関する知識と技能を適切に活用することができる。

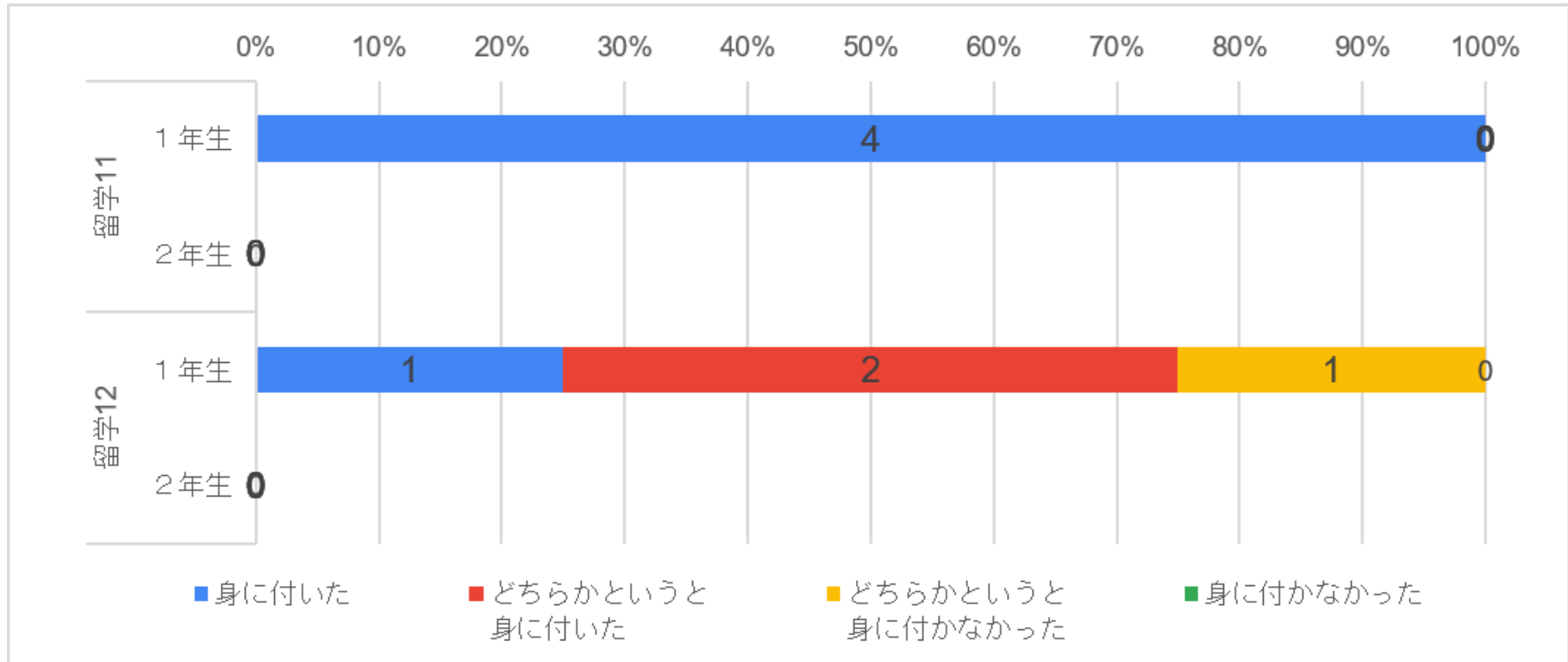
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

観光ビジネス・留学

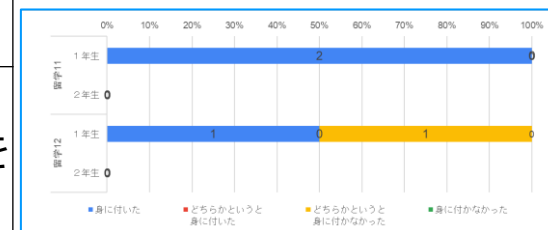
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC11 オーストラリア国立ニューカッスル大学への3ヶ月間の留学を通して身につけた国際感覚と実践的な英語力を適切に活用することができる。

BC12 「国内旅程管理主任者」や「国内旅行業務取扱管理者」の取得に向けた学習を通して身につけた観光ビジネスに関する知識と技能を適切に活用することができる。

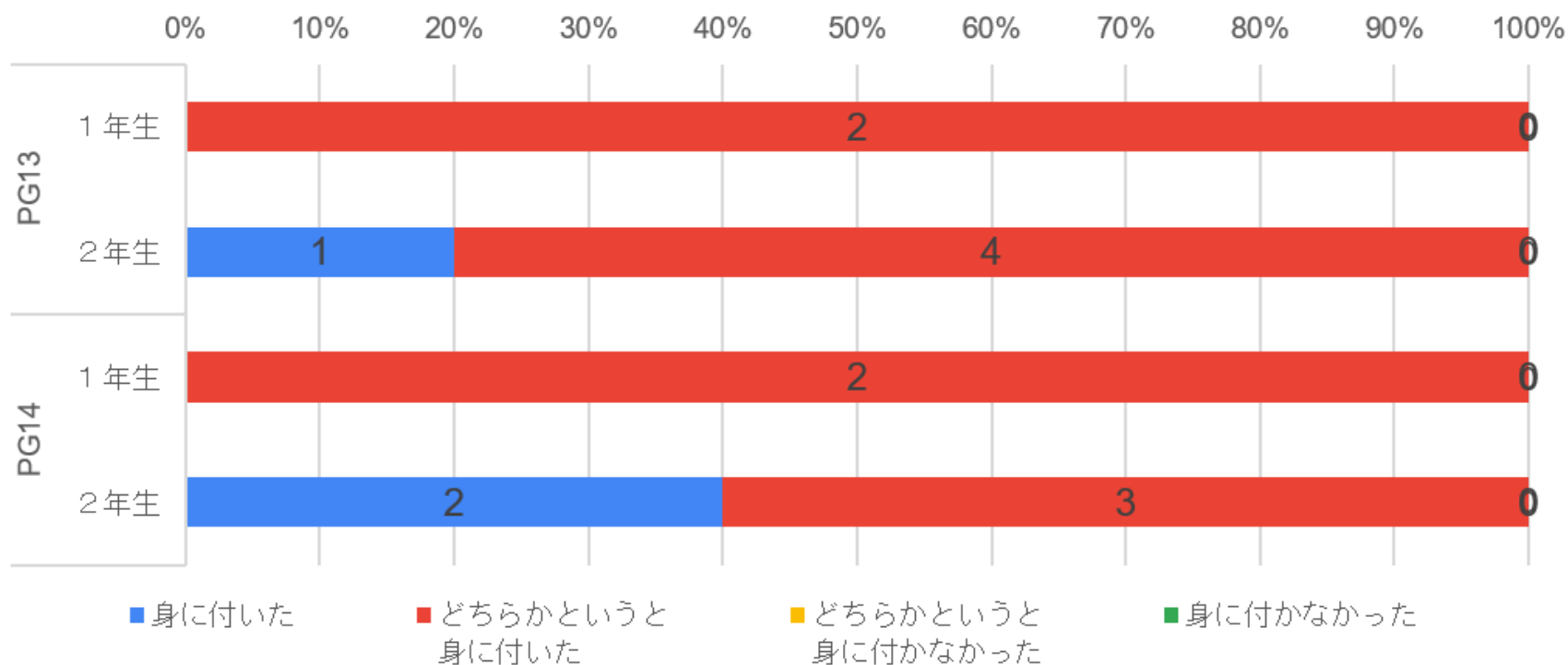
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

情報メディア・プログラミング

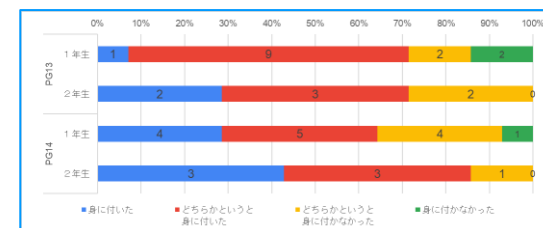
身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC 13 システムエンジニアやプログラマに求められるITスキルを適切に活用することができる。

BC 14 フィールドの専門的学習を通して身につけたIT機器とソフトウェアを駆使する能力及び協働して課題解決に取り組むコミュニケーション能力を適切に活用することができる。

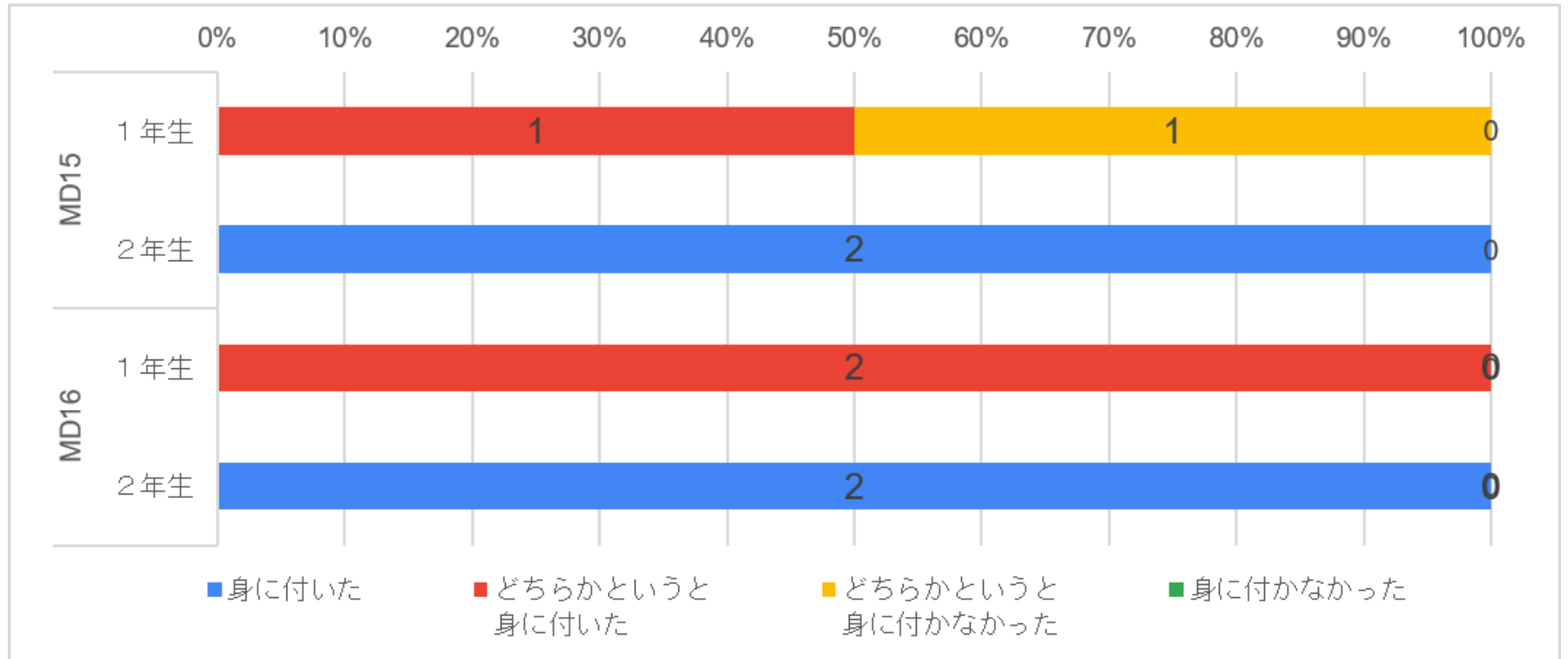
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

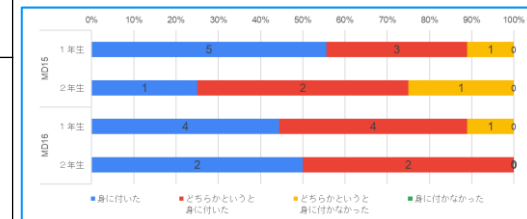
情報メディア・メディアデザイン

身についたかどうかの自己評価(4段階)



BC15	WEB、CG、映像などのメディアデザインの素養、ITを活用するコラボレーション能力、PCトラブルに対応できるサポート技能を適切に活用することができる。
BC16	フィールドの専門的学習を通して身につけたインフォグラフィックスなどビジュアルを用いた情報伝達の知識と技能を適切に活用することができる。

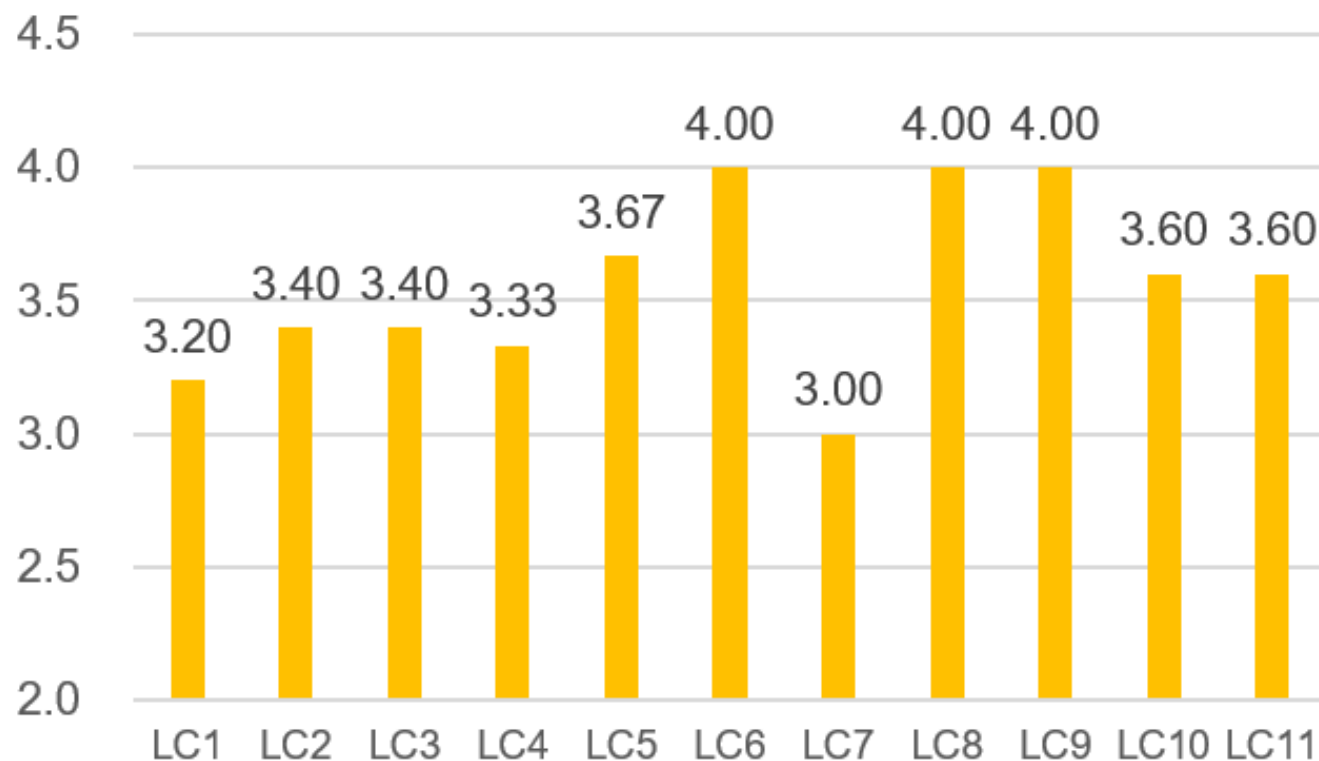
前年



「学修成果別成長実感」の平均値(L学科)

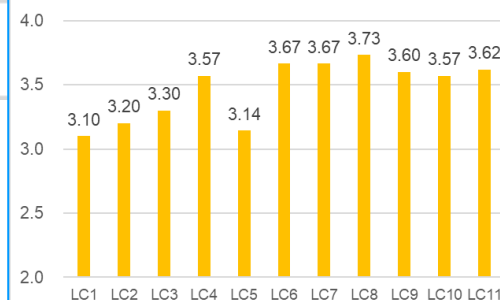
身についたかどうかの自己評価(4段階)

L学科学修成果 (平均値)



前年

L学科学修成果 (平均値)



「学修成果別成長実感」の平均値(L学科)

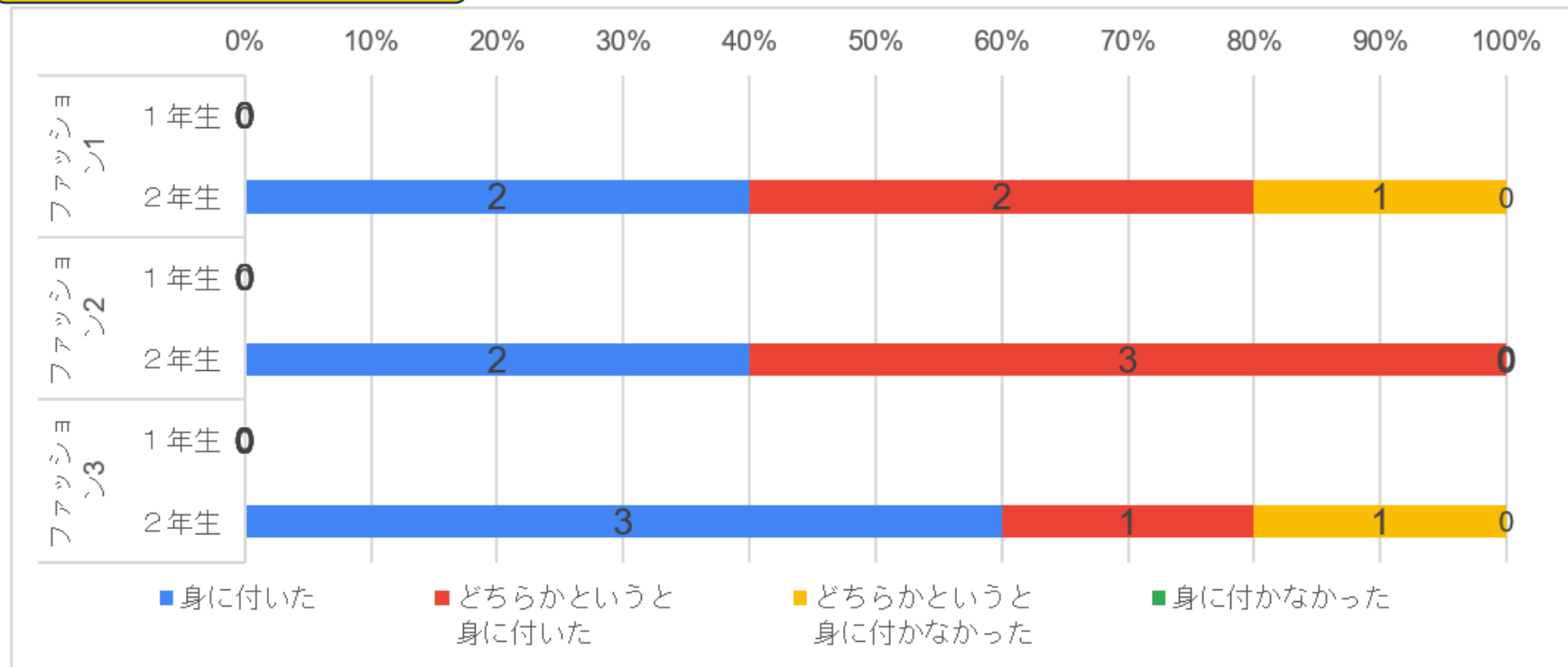
身についたかどうかの自己評価(4段階)

学修成果	平均値	前年	差数	2025n	2024n
LC1	3.20	3.10	0.10	5	10
LC2	3.40	3.20	0.20	5	10
LC3	3.40	3.30	0.10	5	10
LC4	3.33	3.57	-0.24	3	7
LC5	3.67	3.14	0.52	3	7
LC6	4.00	3.67	0.33	1	6
LC7	3.00	3.67	-0.67	1	6
LC8	4.00	3.73	0.27	4	15
LC9	4.00	3.60	0.40	4	15
LC10	3.60	3.57	0.03	5	21
LC11	3.60	3.62	-0.02	5	21

「学修成果別成長実感」の回答構成比

ファッション

身についたかどうかの自己評価(4段階)

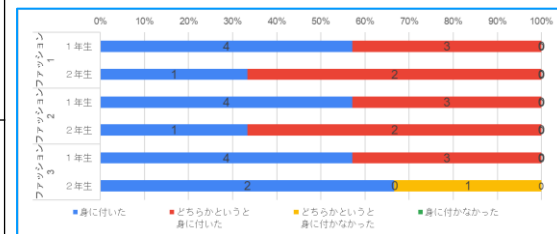


LC1 [アパレル業界で働くために必要な知識を身につけている。]

LC2 [販売職・サービス職に必要なおもてなしの心、ビジネスマナーを身につけている。]

LC3 [チームで働くための協調性、様々なお客様に対応できる対応力などを身につけている。]

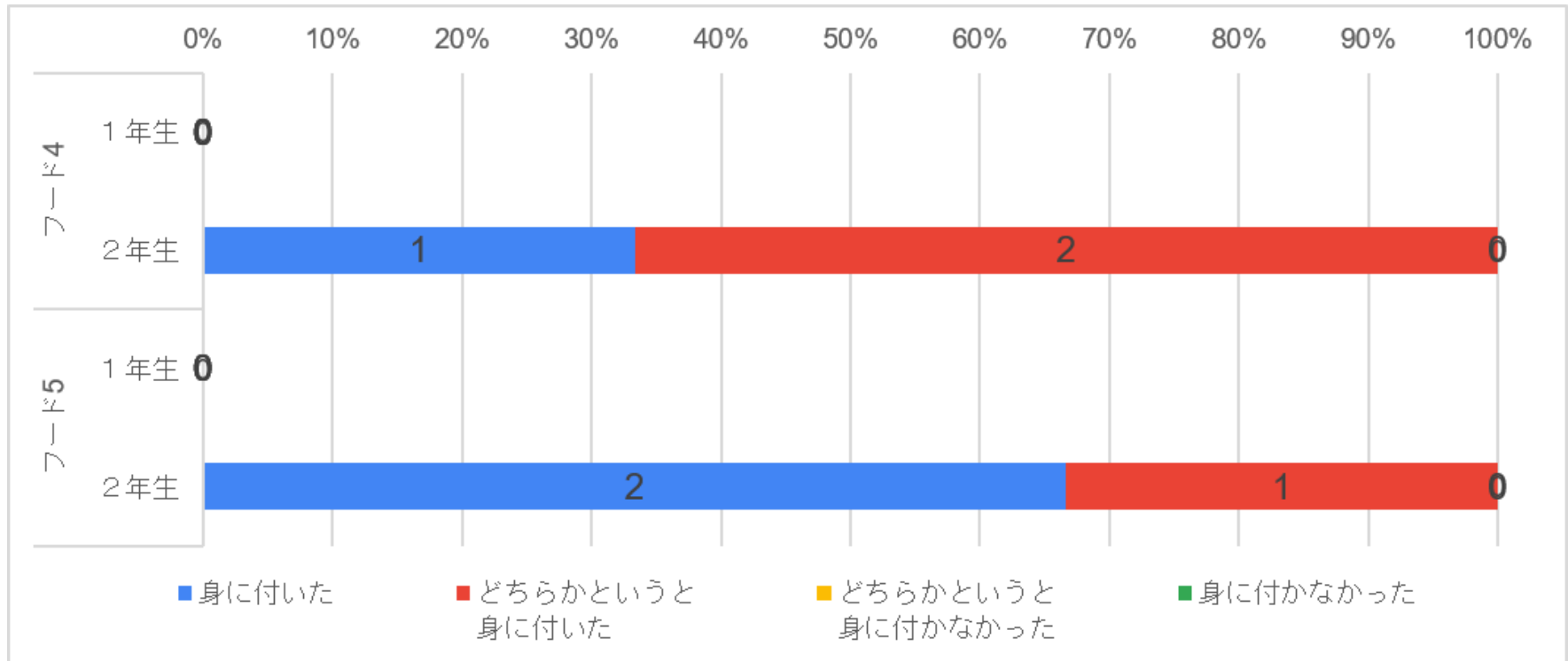
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

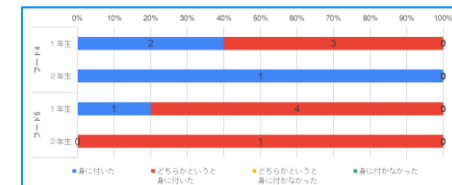
フード

身についたかどうかの自己評価(4段階)



LC 4	「食に関する幅広い知識と技能を身につけている。」
LC 5	「食の知識を活用する仕事に求められるホスピタリティ、コミュニケーションスキルを身につけている。」

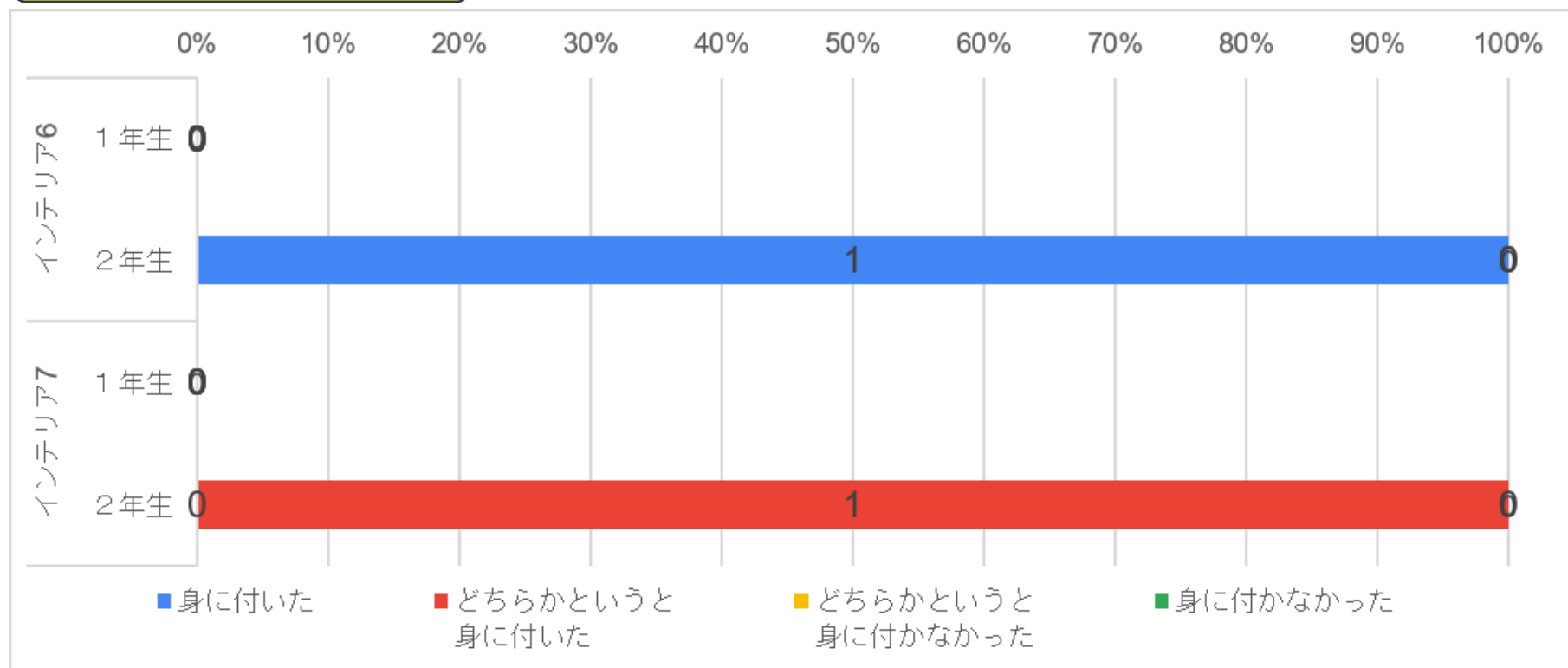
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

インテリアデザイン

身についたかどうかの自己評価(4段階)



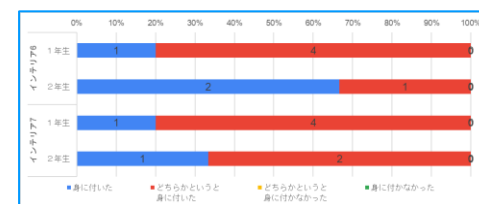
LC
7

「快適な住まいや安全な住環境の知識を身につけている。」

LC
8

「戸建て住宅、マンションなど生活空間の企画提案ができる。」

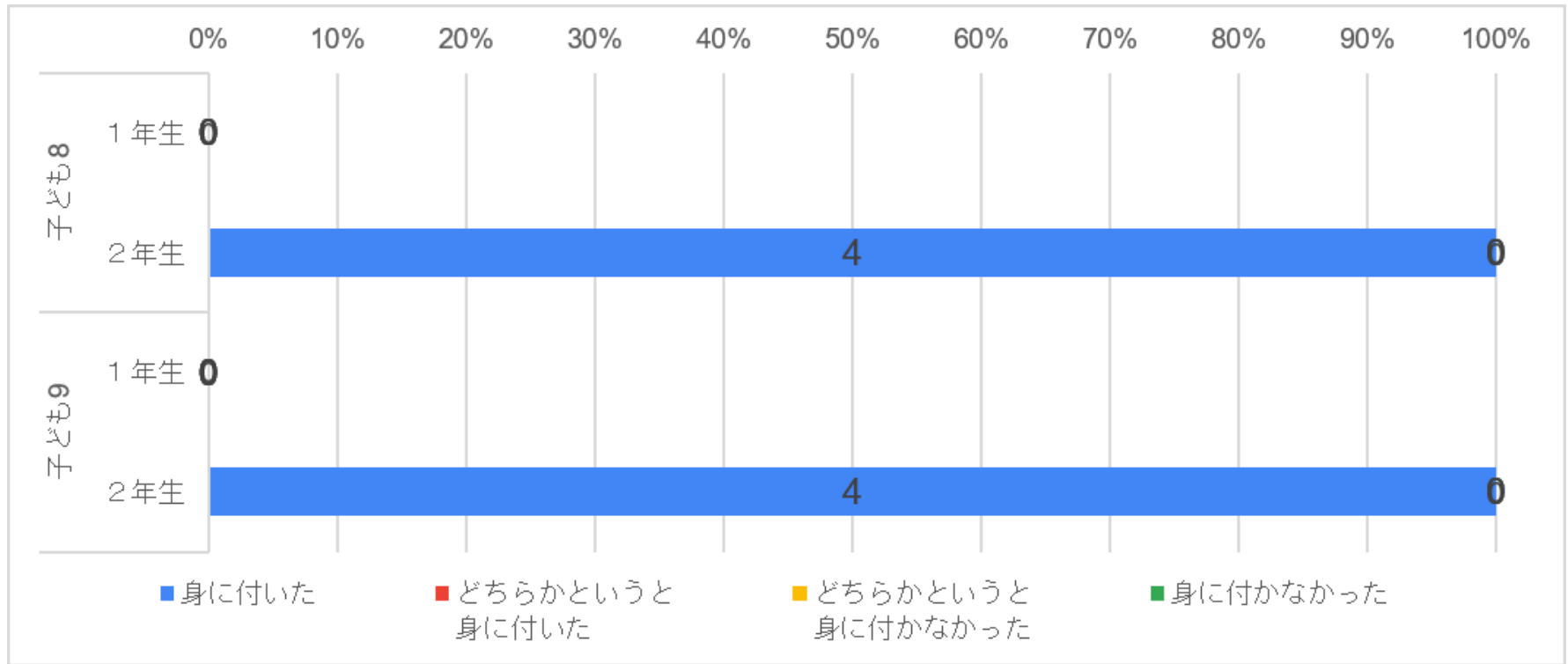
前年



「学修成果別成長実感」の回答構成比

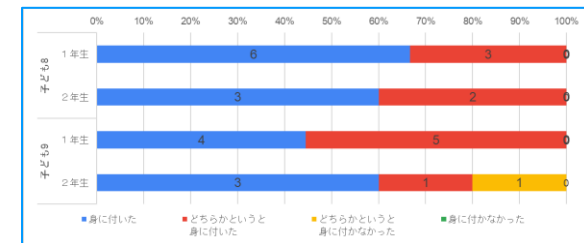
子どもサービス

身についたかどうかの自己評価(4段階)



前年

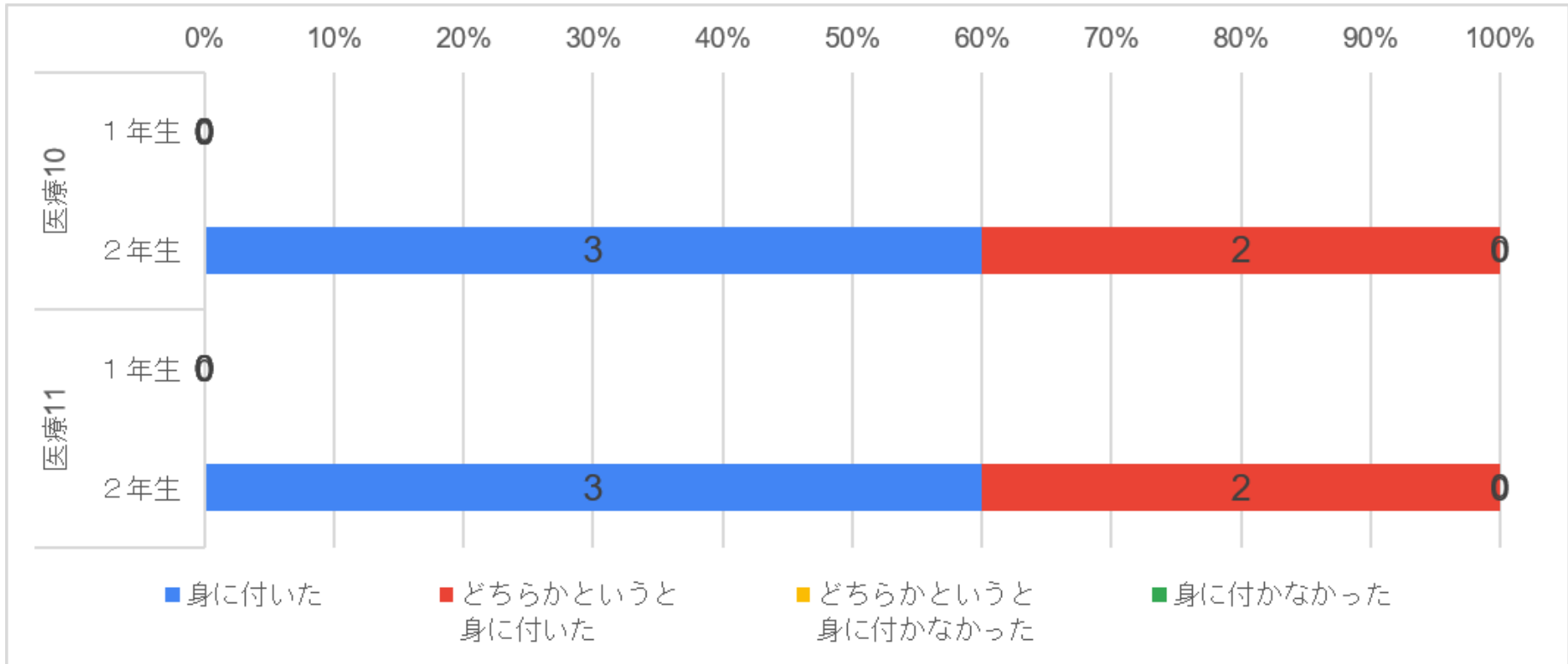
LC9	[子どもと家族のあり方を総合的に理解し、子どもと家族を対象とした仕事に必要な知識を身につけている。]
LC10	[子どもとその家族に対するコミュニケーションスキルを身につけている。]



「学修成果別成長実感」の回答構成比

医療事務・情報

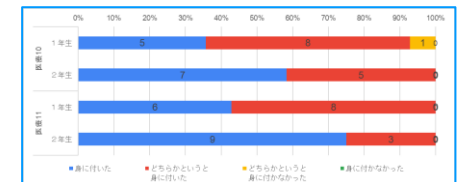
身についたかどうかの自己評価(4段階)



LC1
2 [医療事務や医療情報に関する知識を身につけている。]

LC1
3 [医療従事者に求められる職業倫理、ホスピタリティ、コミュニケーションスキルを身につけている。]

前年



その他に、特に身に付けたい
能力や資質

その他に身に付けたい資質・能力(B学科)

- パソコンの能力(1名)
- ショップ経営や役職に就くのに必要なヒトの扱い方やマネジメント、考え方(1名)
- 英会話能力(2名)
- 上手く会話を繋げる能力(1名)
- 皆の意見をまとめる能力(2名)
- 頭で考えていることを言語化する能力(2名)
- 上手く人を動かす能力(1名)
- 自分の意見をはっきりいえる能力(1名)
- TOEIC600(1名)
- 読解力(1名)

その他に身に付けたい資質・能力(L学科)

- 音楽や、イラストなどの美術関連の能力(1名)
- 専門性の高い分野の資格(1名)
- 課題解決能力(1名)
- 計画性(1名)
- キッチン周りに特化した知識(1名)
- コミュニケーションスキル(2名)

その他に身に付けたい資質・能力(P学科)

- 英語(1名)

まとめ(教育課程検討に向けて)

- 特徴がみられた部分について、各学科・コースで分析を
- 「学修成果」についても定期的に点検・見直しが必要
 - 具体的に評価可能な項目になっているか？
 - 学生が理解できる表現になっているか？
 - カリキュラムマップで科目との関連付けが正しく行われているか？ 等

EOF